

H30.10.30 多面的機能支払交付金事例研究会

事務負担軽減に向けたシステム化の推進

活動記録・確認システムの開発と運用

~ 事務負担の軽減による取組継続と新規拡大のためのシステム開発 ~



福井県多面的機能発揮推進協議会

開発に至った経緯

開発の背景

口福井県では、多面的機能支払交付金の取組みが全県下で行なわれるよう事業を推進

【未取組集落が抱える課題】

- ①報告書類作成の事務を担う者の人選
- ②書類作成の負担が大きく不安



68% (333集落のうち229集落)

口事務処理の簡素化が図られてきたものの 帳票作成や市町指導による修正等に 多大な時間を費やしている。

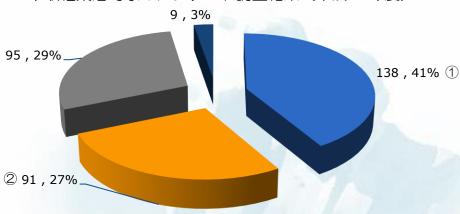
取組方策

- 口活動組織の広域化を推進
- □事務作業の負担軽減策の検討



「活動記録・確認システム」を開発

未取組集落対象のアンケート調査結果(平成26年度)



- ①■報告書類作成の事務を担う者の選出
- ② 事務を担う者はいるが、書類作成の負担が大きく不安
 - ■事業制度・ルールがよく理解できなく不安
 - ■その他

開発コンセプト

報告書類の不具合

- 報告書類を個々に整理し作成するため次の不具合が発生
- 口実施状況報告書と活動記録簿の関係が不一致
- 口活動記録簿の活動項目と活動区分の関係が不一致
- 口金銭出納内容と活動日の関係が不一致
- □金銭出納簿の区分間違い
- 口様式変更に伴う対応に苦慮

不具合等を解消し、市町指導による修正作業の負担軽減を図る



開発のコンセプト

- 口誰でもが簡単な操作で活動内容を電子入力化
- 口活動項目のリスト化(選択式)することでスピーディーな入力作業による省力化
- 口撮影した写真を活動情報とあわせー括管理
- 口報告書類の帳票作成の自動化による効率化・様式変更への対応
- 口その場での活動内容の登録化とGPS機能を活用した位置情報の記録



システム構成



Personal Computer

活動記録・確認システム

登録情報をパソコンに転送



Tablet

現地登録システム

オプション

基本システム

基本情報登録

- □活動組織名
- □集落名
- 口活動計画内容
- 口構成員名簿
- 口設定単価
 - 日当
 - 借上代等



※初期導入時のみ 随時変更可能

活動内容登録

- □作業内容登録
 - 日時
 - 活動項目
 - 参加者
 - 作業写真等
- □機能診断結果
- □竣工検査情報



帳票出力

- □活動記録 (様式1-6)
- □金銭出納簿(様式1-7)
- □実施状況報告書(様式1-8)
- □活動計画 活動報告確認票
- (別記1-5様式第1号)
- 口作業日報(任意様式)
- □写真整理帳 (任意様式)
- 口参加者名簿(任意様式)
- □機能診断記録票(任意様式)



作成したい帳票を選択 自動作成•出力

活動内容登録



- □作業内容登録
 - 日時
 - 活動項目 参加者
- 口機能診断結果
- □竣工検査情報
- □写真撮影
 - (カメラ機能)
- 口保有情報 活動区域(外周) オルソ画像



システム起動と操作



起動は簡単"アイコンをクリック"



Personal Computer

操作は簡単!3ステップ

Step I 基本情報を登録(初期導入時・変更時のみ)

Step II 作業日報・機能診断記録を登録(通常はこの登録のみ)

StepⅢ 帳票を出力 (出力したい時に)

- □作業日報♥ 日時•活動項目 参加者•日当等 写真を登録
- □金銭出納簿 交付金等の収入と 購入物品等の支出 情報を登録
- 口機能診断記録管理簿 機能診断結果を登録
- 帳票の作成・出力
- 口作成した帳票を選択で 登録されたデータを 基に帳票を自動作成 (EXCEL形式)



- 口活動計画 活動計画を登録
- ロマスターテーブル 構成員•日当単価 借上単価等の基本 情報を登録
- □前年度マスター 🗑 データコピー 前年度の基本情報 をコピー
- □PC→タブレット 現地登録システム ヘデータを転送
- ロタブレット→PC 現地登録システム からPCヘデータを 転送



基本情報の登録



□作業員(構成員)を登録 農業者区分で、農業者と 農業者以外を判別

作業日報登録時に参加者 を選択することで、活動 記録簿の農業者・農業者 以外の人数を自動集計

□集落名を登録することで 複数の集落にも対応



□機械単価を登録

活動組織で設定している機械の借上単価を登録

作業日報登録時に参加者と該当する機械 単価を選択すること で借上代を

自動計算・ 金銭出納簿 に反映



□作業単価を登録

活動組織で設定している 日当単価を登録

作業日報登録時に参加者 と時間・該当する作業単 価を選択することで日当 額を自動計算・金銭出納 簿に反映

参加者により時間数 が異なる場合 にも対応



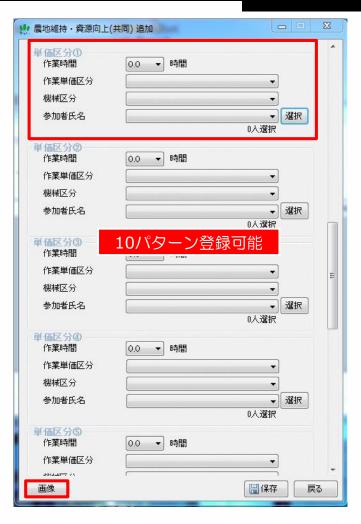


作業内容の登録(日時・活動項目)





作業内容の登録(作業単価等・参加者)





| 単価区分① 作業時間 | 2.0 ▼ 時間 | |
|---------------|--------------------|----------|
| 作業単価区分 | | • |
| 機械区分 | | ~ |
| 参加者氏名 | ●草刈機 | 選択 |
| | ●軽トラック ●軽トラ1000 | |
| 単価区分② | ●軽トラ2000 | |



- 口作業時間・作業単価を登録 作業単価は、表示される基本 情報で登録した単価から選択 時間数と作業単価から日当額 を自動計算
- □機械単価を登録 機械単価は、表示される基本 情報で登録した単価から選択 借上代を自動計算

口作業員を登録

作業員は、表示される基本情報で登録した作業員から選択



iBto

保存 原态



作業内容の登録(現地登録システム)

現地登録システム(タブレット)を活用した作業内容の登録



GPS機能で登録した地点を表示

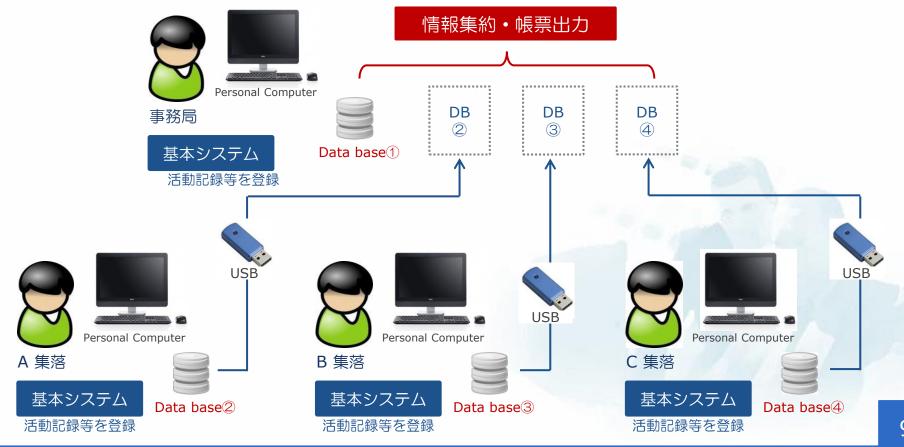




広域活動組織での使用方法

複数のDB登録データを集約し報告書類を作成することが可能

- 運用事例① 全参加集落+事務局でDB登録・事務局で確認・修正・集計
- 運用事例② 既使用集落はDB登録、未使用集落は事務局でDB登録し事務局で集計
- 運用事例③ 事務局でDB登録





普及拡大への取組み(説明会の開催)

説明会の開催

全活動組織を対象に、システム説明会を開催(H27年5月~8月) 欠席の活動組織には、推進協議会・市町から資料を送付

| 開催数 | 対象組織数 | 参加組織数 | 参加者数 |
|-----|-------|------------|--------|
| 80 | 779組織 | 590組織(76%) | 1,013人 |



※平成27年3月現在の組織数

個別説明

未取組集落を対象とした新規拡大のための個別説明時にシステム説明を実施

操作説明会の開催

システム使用申込組織に対し操作説明会を開催

| 開催数 | 申込組織数 | 参加組織数 | 参加者数 |
|-----|-------|------------|------|
| 180 | 267組織 | 214組織(80%) | 446人 |



普及拡大への取組み(利用状況)

利用状况

| 組織数 | 使用組織数 | システム導入数 | うち、現地登録システム |
|-------|------------|----------|-------------|
| 492組織 | 156組織(32%) | 345ライセンス | 59ライセンス |

※平成30年8月現在

- 口活動組織の広域化推進により使用組織数は減少、ライセンス数は増加
- □広域活動組織での導入数は、30組織中20組織

サポート

- □導入説明書・操作説明書を整備
- □システム使用組織に対し、個別説明会・個別訪問によるサポートを実施 (推進協議会・福井県土地改良事業団体連合会によるサポート体制)
- 口様式変更等のシステム改修時には、改訂版を配布
- 口問合せ対応・未使用組織等への説明用として、県・市町にデモ版を配布



システム利用の活動組織の状況

導入に至った経緯

活動組織の広域化に伴い、他の広域活動組織が使用しているEXCELを導入複数集落の活動や金銭出納の集約に労力が必要と実感

推進協議会より、システムのデモ版の提供と他の広域活動組織の使用方法の指導を受け試験的に導入した結果、労力削減が図れると判断しシステムを導入

導入前後の変化・操作感

- 口報告書類が自動作成されるため、集計業務が不要となり事務処理の負担が軽減
- 口活動区分・金銭出納区分等の修正が減少し、市の書類確認後の修正対応が軽減
- □EXCEL時は、様式変更等の際、直営で修正が必要であったが、システム導入後は改訂版が配布され様式変更への対応は不要となった
- 口登録操作も選択式でシンプル
- 口広域活動組織であり登録者数が多いため、参加者選択時の検索機能等の充実が 必要
- □1画面に登録内容が全表示されると確認し易い

今後の方向性



市町の書類確認や活動組織への効果

- □活動記録簿の活動区分や参加者数の間違い・金銭出納簿の集計間違いが解消され 市町が行なう書類確認業務でのチェック業務が軽減。
- □活動組織では、報告書類作成業務の効率化が図られ、組織運営や新たな取組展開 を検討する時間が増加することで、活動の更なる発展に期待できる。

今後の課題・方向性

- 口制度見直しや様式変更時でのシステム改修に多額の費用が必要。 推進協議会で容易に改修できるシステムへの全面改修を検討中。
- ロシステム使用の活動組織に対し、使用満足度・改修要望等の調査を計画中 今後のシステム使用・運用についての参考とし、利用満足度の向上、利用拡大が 必要と考えている。
- □活動組織の広域化に伴いシステム使用料の負担軽減のための改定を検討中。 (導入ライセンス数による割引や初期導入費・年間サポート費への整理等)
- □活動計画書・交付申請書等の帳票作成機能の追加により、活動組織が作成する 書類作成の負担軽減が必要。
- ロシステムが継続的に運用できるよう、運営費用の安定的確保が必要。 (国による支援も期待したい)